



# 尼崎市



DATA

【人口】	454,825 人 (R5.11.1現在)
【面積】	50.71 平方キロメートル
【職員数】	3,222 人 (R5.4.1現在)

## 「発表のテーマ」 「徴収ONE TEAM」プロジェクト

### <発表概要or今年の実施の特徴>

ラグビーワールドカップ日本代表の活躍で令和元年には流行語大賞にもなった「**ONE TEAM**」をつくることで、市税の収入率等が向上し、職員全員のモチベーションもアップした！

### <改善運動の特色やアピールポイントなど>

共通の目的（収入率向上・収入未済額縮減）に向かって **若手職員が主体的に取り組み、お互いに意見を出し合える** 組織風土こそ、課題を解決する糸口となる。

（収入率向上・収入未済額縮減に向けた取り組みが評価され、納税課・特別処理担当の歴代職員が市長表彰を受けました！）

### <メッセージ・意気込み>

目標を達成しても、新たな目標を掲げて「KEEP TRYING FOREVER（永遠に努力し続ける）」。



## 阪神タイガース 2軍本拠地が 尼崎市に移転決定

部署名	資産統括局 納税課
タイトル	「徴収ONE TEAM」プロジェクト
改善前 【Before】	<p>尼崎市では、他の類似都市と比較しても<u>個人市民税の収入率が低く</u>（平成29年度兵庫県下39位、収入率92.7%。）、個人市民税の収入率向上が課題となっており、組織体制見直しの局面を迎えていました。</p> <p>従来の徴収体制は、滞納整理業務を係ごとに分担する「機能分担制」であったため、徴収職員は、他の係の業務内容を把握しておらず、<u>職員間の業務連携やコミュニケーションが取りづらい環境</u>でした。</p> <p>また、従来の組織体制は、いわゆる「トップダウン型」であり、係長級が企画立案し、会議で承認を得るもので、一般職からすれば、<u>モチベーションの上からない、決められたことをただやるだけのつまらない職場</u>でした。</p>

## 取組内容

「機能分担制」から、職員が納税交渉から差押え、執行停止等に至るまでの徴収業務全てのプロセスを行う「地区担当制」へ

### ① 「ONE TEAM」を作る！

若手職員を中心に選抜された「滞納整理戦術会議」を結成。

➡ 課題解決に向けて、若手職員を中心に積極的に議論を行うような  
自由闊達に意見が飛び交う職場に

### ② 職員研修の充実

新任配転者に向けた「滞納整理研修」を1年間通して実施。

### ③ 新たな滞納をなくす取組み

「現年対策チーム」の設置。

➡ 現年課税分（今年度分の滞納）の徴収を重点的に取り組む！

効果  
【After】

(改善の成果  
・取組の効果)

平成29年度比で令和4年度尼崎市税決算をみると…

一、収入率 3.2%UP!

◆ 類似都市平均との差が4.6%差から  
2.4%差に大幅縮小!

二、収入未済額 48.7%削減!

◆ 約16億7千万円もの滞納を圧縮!



収入率の向上により、チームのみならず  
職員全員のモチベーションもアップ!!